

「OPEN SITE 2018-2019」 Part 2

TokyoTokyo
FESTIVAL

すべてのジャンルに創造の場を開いた、アート・プラットフォーム

「OPEN SITE 2018-2019」では、あらゆる表現活動が集まるプラットフォームの構築を目指し、展示、パフォーマンス、演劇など、様々なプログラムを2会期にわたり開催しています。

1月12日（土）から始まるPart 2では、玉木晶子、MUTEK.JPによるデジタルメディアを用いた展示企画をはじめ、宮田篤による4日間限定の本屋「びぶんブックス」や、演劇ユニット・ハイドロブラストの旗揚げ公演を実施。また、TOKAS 推奨企画として、コンタクトゴンゾとやんツーによる新作パフォーマンスを行います。

アートの領域横断化が進む現在、既存のジャンルにとらわれずに、自由かつ強い意志を持ち、意欲的に自己表現に取り組む企画に、是非ご期待ください。

開催概要

実施期間：【Part 2】2019年1月12日（土）～2月11日（月・祝）

◆オープニング・トーク

日時 | 2019年1月12日（土）16:00-17:30

ゲスト | 畠中 実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）

出演 | 玉木晶子、MUTEK.JP

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

休館日：月曜日（ただし1月14日、2月11日は開館）、1月15日

主催：トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

ウェブサイト：<http://www.tokyoartsandspace.jp/>

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）広報担当：市川、竹野

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1154 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

■ 実施企画／広報用画像 ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

展示

玉木晶子

「ブレイクタイム No.6」

アーティストの玉木が複数のメディアを行き来し、《いまここ》で見ている観客の経験を揺さぶる映像インスタレーションを発表。仮想的なイメージと、実在するモノを交差したパフォーマンスな状況を、相関的に設置したスクリーンやディスプレイによって立ち上げていく。観客の眼差し、そのリアリティとは一体何であるかに迫る。



1. 《ブレイクタイム No.3》 2016
パフォーマンス、映像インスタレーション

関連イベント 2月2日(土)16:00- トーク・イベント 玉木晶子×伊村靖子 (情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 講師)

プロフィール 1983年生まれ。東京都を拠点に活動。2016年東京藝術大学大学院映像研究科修了。イメージの持つあやうさについて「見る」という経験から問い直す表現活動を行っている。主な作品に、現実と映像の作家が交差し越境するパフォーマンス・映像インスタレーション《ブレイクタイム No.3》(2016)や、メディアにおける自己言及のパラドクスを作品化したARインスタレーション《これは鏡ではない》(2014)がある。

協力 コ本や honkbooks、時里 充 (TOKISATO PLAYER)、藤田至一

////////////////////

展示

MUTEK.JP

「VR Salon : イマーシブ・リアリティーズ」

立体的かつ奥行きのある映像を体感できる VR シネマなど、世界的に活躍するアーティストによるヴァーチャル・リアリティ (VR) を用いた作品を紹介。芸術の新たな表現形式に至るツールとして、新たな没入型メディアの概念を探求する。



2. 参考画像

参加アーティスト 梅田宏明、山本信一・瀬賀誠一・Intercity-Express (日本)、カン・ブユクペーパー (トルコ)、フェリックス&ポール (カナダ)、フライトスクール (アメリカ)、マシュマロ・レーザー・フィースト (イギリス)、テオドル・ウシェフ (カナダ/フランス)

関連イベント 1月26日(土)16:00- トーク・イベント

出演：山本信一 (メディア・アーティスト)、瀬賀誠一 (デジタル・アーティスト)、Intercity-Express 大野哲二 (音楽家)

プロフィール デジタル・アートの促進を担う非営利団体。美術、音楽、科学、テクノロジーが交差する創造を探求する革新者とクリエイターのためにプラットフォームを提供する。主な活動に「MUTEK.JP 2018」(日本科学未来館、東京)のほか、モントリオール、メキシコシティ、バルセロナ、ブエノスアイレス、ドバイ、サンフランシスコ等でフェスティバルを実施。

協力 Phi Centre (モントリオール)

助成 アンスティチュ・フランセ日本

パフォーマンス (TOKAS 推奨企画)

コンタクトゴンゾ 「untitled session」

1月19日(土) 18:00-

¥2,000/要予約(満席のため予約受付終了)

殴り合い、ぶつかり合いの中から生まれる即興をベースに、痛みと驚きをもたらす身体表現を繰り広げるアーティストコレクティブ、コンタクトゴンゾによる新作パフォーマンス。ゲストにメディア・アーティストのやんツを迎え、自動キャプショリングの技術を搭載したセグウェイがパフォーマーとして参加する。

関連イベント アフタートーク

ゲスト: 阿部一直(キュレーター、アートプロデューサー)

プロフィール

◆コンタクトゴンゾ: 2006年に垣尾優と塚原悠也により結成。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品を制作、マガジンの編集などを行う。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、NAZEの4名。
◆やんツ: 美術家。1984年神奈川県生まれ。2009年多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。デジタルメディアを基盤に、行為の主体を自律型装置や外的要因に委ねることで人間の身体性を焙り出し、表現の主体性を問う作品を多く制作する。



3. コンタクトゴンゾ



4. やんツ

Photo: 松見拓也

////////////////////

展示/ワークショップ

宮田 篤

「びぶんボックス」ことばの店: 微分帖

1月24日(木) ~ 1月27日(日)

無料/予約不要

参加者が文章を書き加えながら作っていく小さな本《微分帖》を本屋に見立てた空間に展示する。自由に閲覧することができ、またレプリカを持ち帰ることもできる。複数の人によって描かれる様々な物語は、お互いのコミュニケーションの(不)可能性や多様性、ある種の無意味さを示唆すると同時に、日常には欠かすことのできない大切なことを象徴している。

5. 《ことばの壁: 微分帖》2015 元トウネ精米店
Photo: 長谷川朋也

関連イベント 1月25日(金)「巻いて挟んで 連句と微分フェア」ゲスト書店員: 高松 霞(連句人)

1月26日(土)「読んで読まれて 詩と朗読フェア」ゲスト書店員: 向坂くじら(詩人)

14:00- 朗読ユニット ATTAによるパフォーマンスとワークショップ

プロフィール

美術家。1984年生まれ。東京都を拠点に活動。2009年愛知県立芸術大学大学院美術研究科美術専攻修了。おとなも子どももあそべるぶんがく《微分帖》など、ワークショップやドローイングによって他者との関わりの中にある差異を見つめることを制作の契機にしている。

演劇

ハイドロブラスト 「幽霊が乗るタクシー」

2月 9日(土) 19:00-

2月 10日(日) 14:00- / 19:00-

2月 11日(月・祝) 14:00-

¥2,000/要予約



森 準人



昇 良樹



あゆ子



小宮一葉

映画監督の太田信吾が主宰する演劇ユニット・ハイドロブラストの旗揚げ公演。「幽霊」を名詞ではなく、“死者に想いを馳せる”という行為として再定義し、プロジェクトメンバーである俳優がタクシーに乗車し、それぞれに会いたいと願う“死者”に対して想像や取材、対話を行う。「ダンス」「落語」「ドキュメンタリー」の手法を融合させた独自の的方法論で“境界”や“領土”という抽象概念を問い直す。

太田信吾コメント

今改めて“幽霊”という存在を定義すべきだと考え本作の制作を決めました。幽霊を“心霊”や“ホラー”という娯楽・消費の枠に閉じこめてはいけません。幽霊は私たちの暮らしにもっと積極的に作用をもたらしていい。幽霊と向き合うということは過去の悲劇や災害を“忘れない”という姿勢であり、その対話を続けることが同じ過ちを犯さないことに繋がるはずだから。ぜひ楽しみにしてください。



6. ハイドロブラスト「幽霊が乗るタクシー」

出演者 森 準人、昇 良樹、あゆ子、小宮一葉

関連イベント アフタートーク

2月 9日(土) 19:00- ゲスト：溝口孝栄（株式会社三和交通統轄本部 広報部長）

2月 10日(日) 14:00- ゲスト：常光 徹（民俗学者、文筆家 『学校の怪談』等）

19:00- ゲスト：大島てる（「大島てる」管理人）

2月 11日(月・祝) 14:00- ゲスト：佐々木俊尚（ジャーナリスト）

プロフィール 映画監督、テレビディレクター、俳優として活躍してきた太田信吾によって 2018 年に設立。神奈川県を拠点に活動。あらゆる境界や断絶を演劇というツールで噴射し、社会の多様性を担保する。

協力 エムマッティーナ、空間企画、チェルフィッチュ、デューズ、岡本あきこ、酒井 清、Residency PACT Zollverein

助成 アーツコミッション・ヨコハマ、公益財団法人セゾン文化財団（フライト・グラント）

※作品タイトル、出演者及び公演内容の一部を変更しました。

公募概要

募集期間：2018年3月1日(木)～4月13日(金)

応募総数：285 企画

審査員：畠中 実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）

久野敦子（公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター）

毛利嘉孝（社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授）

近藤由紀（トーキョーアーツアンドスペース プログラム・ディレクター）

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、竹野

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp